



誰もがみんな自分らしく

男女共同参画社会をめざして



女性も男性も
ともに自分らしく
生き生きとしあわせに
暮らすことのできる社会について
一緒に考えてみませんか？

八戸市

男女共同参画を推進するための 5本の柱

男女の人権の尊重

男女それぞれの人権を尊重し、性別により差別しないようにしましょう。また、一人ひとりが個性と能力を発揮できるようにしましょう。



みんなで協力する
楽しい家庭

社会における制度または慣行 についての配慮

「男だから」「女だから」という性別による固定的な役割分担の意識が、地域活動への参加、職業や学校を決める時に影響を及ぼさないようにしましょう。



平等でやりがい
のある仕事・職場

方針の立案および決定への共同参画

男女が対等なパートナーとして、さまざまな分野における方針の立案や決定の場に参画できるようにしましょう。

地域活動・方針決定過程
への参画

家庭生活における活動と他の活動の両立

家族一人ひとりがお互いに協力し合い、社会の支援を受けながら、家庭生活と仕事や地域活動との両立ができるようにしましょう。



性と生殖に関する健康と権利

男女ともお互いのからだの違いについて理解を深め、生涯にわたって健康に生活を送れるようにしましょう。また、お互いの意思で安心して妊娠と出産ができるようにしましょう。

市民のみなさんからのご意見です あなたはどのように思いますか？

男にできること・できないことがあり、それは女も同じです。ただ単に男女同権ということではなく、できない事柄については助け合うことが大切なのです。(男性60代)

出産・育児などいろいろな形での援助があれば、女性も十分社会参加できると思います。そして、それがこれからの豊かなゆっくりとした社会づくりに大切なことだと思います。(数年にわたる育児休暇の保障など…) (女性50代)

学校などが終わった後に子どもを預かってくれる施設などが増えると、女性も安心して働くことができると思う。(男性30代)

就業機会、昇給、昇格の格差などは当然に是正されるべきものではなく、能力に応じて、つまり女性側の意識も改革された後に行われるべきものであると思っています。(男性30代)

子育ても、仕事も楽しいことなので、男女ともそれを楽しめるように、男性にも育児に参加する時間が取れればいいと思う。そうすれば、女性への理解も深まり、女性も仕事をすることができ、子どもを産みやすい環境にもなるので、社会が活性化すると思う。また、父が家事をしたり、母が働くのを子どもが当然と思いつつことで、無理なく次世代の男女共同参画がなされると思う。(女性50代)

男らしく、女らしくということがまだまだ重視されがちな世の中ですが、リーダーシップのある女性もいれば、家事・育児の得意な男性もいるということをおぼえてはいけないと思います。どうしても、このような活動が一般化してくると、考えが極端になりがちなので注意してください。世の中には、女性に被害を受ける男性もいます。性別に関わらず、皆が安心して自分の得意なことに挑戦できるような世の中になることを望みます。(女性20代)

個々の家庭での父親の育児や家事などへの意識が高まり、少しずつ実践へと結びついていったとしても、今の職場中心の社会では容易なことではない。ともかく、企業中心の社会から家庭生活中心の社会へとシフトできるように、社会全体の意識が高まり努力しなければ、男女共同参画社会実現への道のりは厳しいように思える。(男性70代)

学校や職場等の中で、上に立つ立場の人たちはやはり男性が多いと感じます。私も、高校までは校長・教頭ともに男性だったなと思い出します。このことが、気づかぬうちに子どもたちに「上に立つ人は男の人なんだ」というイメージを持たせることになっているのかもしれないと思いました。また、家庭においても「仕事は男性、家事は女性」というような役割分担をすることで、子どもにそのような考えを受け継いでしまうのかもしれない。子どものころから、男女平等のイメージを持つような環境を作っていくことが、大切なのだと思います。(女性30代)

私は結婚しても仕事を続けようと思ったが、妊娠して6カ月の時に職場から「いつ辞めるのか」と言われ、育児休暇を取るつもりでいた私は、大きなショックを受け、仕事を辞めた。そういう面でも男女共同参画社会を確実に築き、事業所に理解してもらえればと思う。とにかく、子を持つ母親は社会復帰に対して大きな不安を抱えている。(女性30代)

女性の地位・社会進出は徐々に向上してきていると感じている。しかし、基本的に女性の出産・育児は男性に肩代わりしようがない部分なので、その点で男性より優位で多いということ踏まえての社会づくりでありたい。社会のどの分野でも男女平等とはならないのはやむを得ないことだ。(男性60代)

自分たちの住んでいる地域を住みよく、生き生きと活性化するために、政治への参加、行政への要望等、今以上に女性が積極的に参加したほうがよい方向へ変化し、進むと思うのだが…(男性60代)

男女共同だからといって、すべてのものが同じでなければいけないというのではなく、それぞれ男・女としてのよさを生かし、うまく社会に参加できるといいと思います。発揮する事柄の割合が異なっても、達成感があれば次の進歩につながるのでは…(女性50代)

いくら「家事や育児を男性も女性も協力して」などと言っても、現状の労働時間、労働環境では無理。法的に保障されているとしても、男性の育児休暇取得はそう簡単にはいかない。1日の労働時間(残業も含めて)、1年間の休暇日数等、日本のサラリーマンの働き方を根本から変えていかないとただの理想で終わり。思い切った改革をしないと、少子化に歯止めはかからないはず。子どもを産むの(特に女性)の損をするという風潮を早急に何とかすべきである。(女性30代)



市は男女共同参画を推進するために 次のことをします

- 学校教育や社会教育などを通して、男女共同参画の理解を深めてもらうために、教育及び学習の振興に努めます。
- 市民のみなさんや事業者が行う男女共同参画推進のための活動に対し、情報提供などの支援を行います。
- 男女共同参画の推進状況や施策の実施状況を毎年公表します。
- セクハラやDVなどの相談を受け付け、他の機関と連携を取りながら解決に努めます。

はちのへ男女共同参画都市宣言

あなたはあなたらしくていい わたしもわたしらしくていい
お互いを思いやり お互いを認め合い お互いを高め合い
男だから女だからにとらわれず
自分らしく生きていきたい

一人ひとりが生き生きと暮らせるまちを
ともに築くため

八戸市は
ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成13年10月31日宣言

with you

毎年10月は「男女共同参画推進月間」です

ご意見・ご感想はこちらまで

八戸市市民生活部男女参画国際課男女共同参画グループ

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-2111 (内線628・629)

FAX 0178-47-0746

ホームページ <http://www.city.hachinohe.aomori.jp>

メール danjo@city.hachinohe.aomori.jp